



親子学級すくすく「講演会」



テーマ：子育てを楽しもう！～ペアレントプログラムの実践～

11月25日（木）に、臨床心理士の高橋 紀子氏をお招きし、講演会を実施しました。2名の保護者さんがペアレントプログラムに取り組み、「普段ついつい“〇〇しないよ！”と言ってしまうのですが、“〇〇しよう！”と共有できたらと思う。」「良いところ、頑張っているところに目を向けて子どもに接していきたい。」等の感想をいただきました。他の家庭の様子を聞いたり、お子さんの今できていることを見つけたりする機会となったようでした。

～こんなお話をいただきました～



- ◆ペアレントプログラムとは、子どもへの声のかけ方を学ぶこと。
- ◆叱ることは、やってほしい行動に結び付きにくい。（ばれないようにする等の叱られないようにする行動が生まれてしまう。）そのため、褒めた方が良い。
- ◆「褒める」とは、ただの応援や励ましではない。行動をよく見てコツを伝えるイメージで、上手くいっているところをまず認める。
- ◆困っていることはあるけれど、日々の生活を送れている工夫等、客観的に状況を知る。

～こんな実践を行いました～

- ◆子どもの行動を、「いいところ（自然にできている）」、「努力しているところ（サポートがあればできる）」、「困ったところ（なかなか手が付けられない）」の3つに分ける。
- ◆ギリギリセーフ行動（困っているけど何とかやれていること）について考える。
- ◆デンジャラス（より困る行動）について考える。



ペアレントプログラムを実施して…

～今できていることを確認する～

～解決できないなりに工夫・努力していることを認め合う～

～日常を回している自分を褒める～

